



# にこにこ通信

保育コンシェルジュ通信 \*令和6年度 2号\*



汗ばむ日が続き、冷たい水が心地よく感じられる季節となりました。園ではプール遊びが始まり、夏祭りや花火など、子どもたちにとってワクワクする夏がやってきました。

今回のにこにこ通信2号は、阿弥陀こども園の園舎建て替え工事前の様子をお伝えします。

現在の阿弥陀こども園の園舎は、昭和48年に幼稚園、保育園が隣接して新築園舎として建てられました。そして、平成28年4月からこども園となり、約50年の間たくさんの園児たちを見守り、小学校へと巣立っていく背中を見送ってきました。そんな阿弥陀地区の中で長年親しまれてきた歴史ある園舎に、感謝の気持ちを込めて在園児と保護者と一緒に絵を描きました。



この日は、3歳児と5歳児クラスの保護者と園児がそれぞれ好きな場所を選んで、絵を描いたり手形を押ししたり、メッセージを書いたり親子でおもしろおもしろに楽しんでいました。

お母さんに手に絵の具を塗ってもらって、こわごわ壁にぺたんと手形をつけます。自分の手形が壁に移ると楽しくなって、ぺたぺたと楽しそうに手形をつけていました。“ありがとう”“あみだこどもえんださいき”などメッセージを書いている保護者の方にお話を聞くと、保護者の方も阿弥陀こども園の卒園児で「園舎が無くなるのはさみしい気もしますが、新しくなる園舎もとても楽しみです。」と教えて下さいました。また別の保護者の方は、「阿弥陀幼稚園が完成した記念に、園庭の芝生を植えたのを覚えています。」と思い出のエピソードを話して下さいました。

親子で思い思いに楽しんで描く姿をみていると、私たちも楽しくなってきました。また、思い通りにならなくて、お父さんに手伝ってもらっている姿もあり、とても微笑ましかったです。子どもならではの発想で、蛇口は青・黄・水色と見事に彩られており、「綺麗にしてくれて、とってもうれしいわ〜。」と先生に褒められた子ども画伯たち、ますます張り切って描く手が止まりません。雨が降っても消えない特殊な絵の具を使っているのので園舎解体の日まで毎日にぎやかな園舎で過ごせますね。



絵を描き終わると、園庭の森で“親子の触れ合い遊び”が始まりました。音楽に合わせて身体を使ったふれあい遊びを楽しんでいました。最後に5歳児クラスのおともだちが♪わがまち高砂♪を合唱してくれました。

とても暑い日でしたが園庭の森に入ると、クヌギの木が気持ちのいい木陰になって、心地よい風が吹き抜けていました。この森は残りますが、伐採される木もあります。でも、先生方の希望で伐採された木は、ベンチやお部屋のプレートに加工して再利用する予定です。形は変わっても、これからもずっと子どもたちを見守り続けてくれますね。そして、思いや伝統はこれからも引き継がれていきます。



地域の方々のご協力も経て新園舎が完成するまで約2年。引き続き新園舎完成までの様子をお伝えしたいと思います。

